



人形編



三味線編



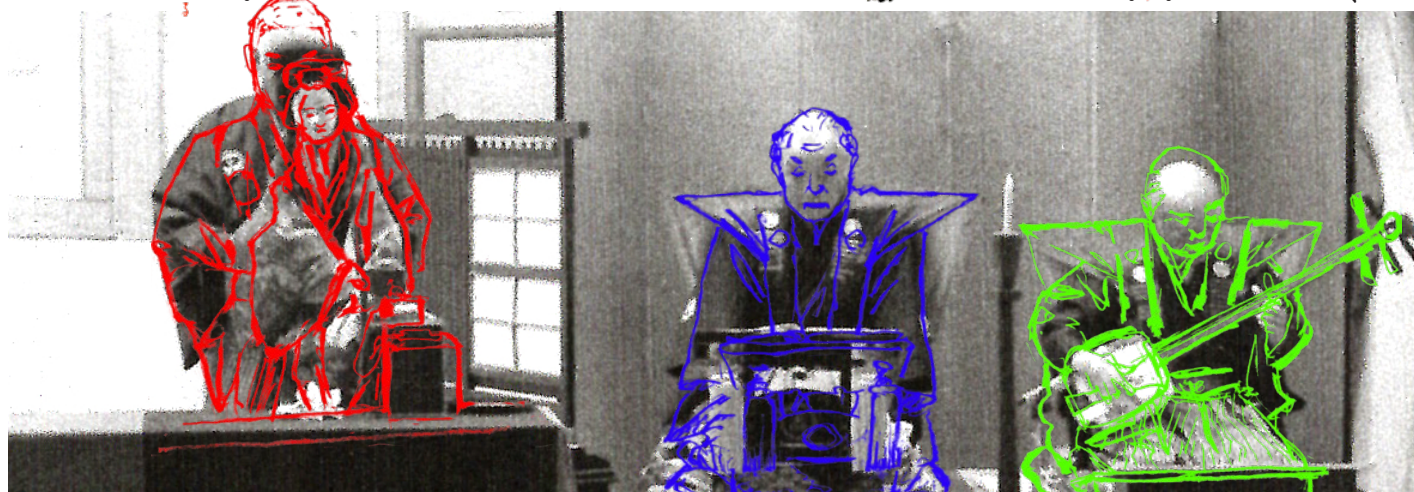
太夫編

発行 一京都Re-Search 実行委員会 (京都府、京丹波町ほか)
制作 一山成研究所

京丹波町和知といえば、京都の中腹にある町。栗や黒豆で有名な町という印象です。でも最近知ったのが、農家さんや町の人が親しんで今に伝えてきた芸能があるということ。その一つが「和知人形浄瑠璃」。一般的な人形浄瑠璃は三人で一人の人形を動かすらしいですが、和知では人手が揃わなくてもできるように、一人で一人の人形を操る技法が今に伝えられています。今から三百年くらい前から続けてこられた伝統文化。なぜこの町で長く受け継がれてきたのか。何か特別なワケがあるのではないかな。



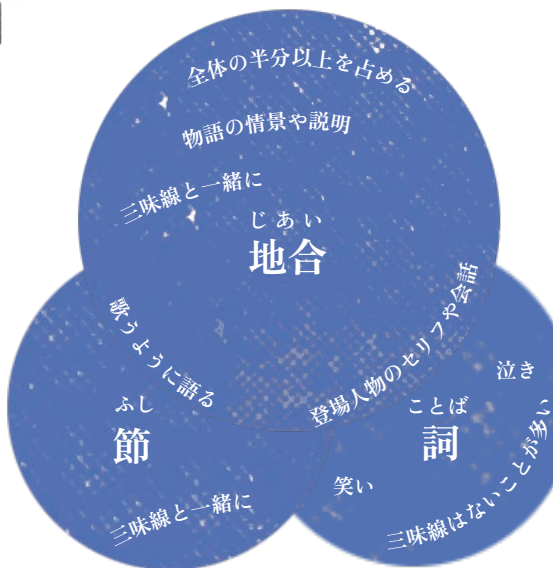
人形浄瑠璃は人形遣い、三味線、太夫(語り)の三者が一体となる総合芸術だと言われていますが、情を語るから浄瑠璃といわれるほど、語り「太夫(たゆう)」が主役とされています。一人で物語の説明や節(歌、たくさんの登場人物のセリフを語り分ける太夫。天からの視点に立って、物語を叙事的に進めていたと思ったり、音をつかった語りにより、音楽的に、劇的に語る。そうかと思ったり、叙情的になり、セリフを感情的に語る。一つの話の中でかなり変動をみせるのです。音(声)の出し方により時間や空間が変容する唯一の芸。今号では和知の太夫について、見たり聞いたりしたことをまねっこしながら紐解いていこうと思います。「とぎやい、とーざい」



写真：2024 年 2 月伝統芸能常設館での定期公演、京丹波町提供、画：中井梓太郎

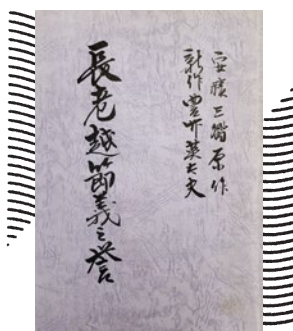
太夫は浄瑠璃の主役

「地合」「詞」「節」を使いわけ、語り・歌い、物語を展開。太夫の語りは義太夫節(ぎだゆうぶし)と言われる。義太夫節は声の音域は低音から高音まで幅広い。



義太夫節を語るために

公演では語りのニュアンスや気迫を伝えるため、マイクはなく地声でおこなう。一音一音感情を入れて声を遠くまで飛ばせるように、腹式呼吸で声を発している。そのため、正座ではなく、下腹部に力を入れやすいよう尻引を当て腰掛ける。両足のつま先を立てて背筋を伸ばして座っている。



床本「長老越節義之誉」
原作：安積三響
新作：豊竹英太夫 (大阪文案)

あらすじ

ちよろろ ぐえ せつ ぎ の ほまれ
現在の和知町仏主(ぼどす)村に残る物語から制作された和知オリジナルの演目。藤田猪平(伊平衛)と、その妻お紺(おこん)の物語。本格的な作品となり世に送り出されたのは昭和59年4月。平成11年に原作を元に新作が再編され、今の形に至る。

仏主村の庄屋(今でいう村長さん)伊平衛は、園部藩の重税に対して、命を顧みず交渉をしに行きました。しかし、反抗者として牢屋に入れられ、責害にあつて死んでしまったのです。その知らせをうけた妻、おこん。夫の遺書を見ていると「おこん自ら直訴せよ。村人と一緒にいけば村人も処刑されるので、単独で行きなさい。」と厳しいことが書かれていました。村人が同行すると申し出てきたが、処を身一つに受け止めるべく同行を拒否。おこんは二人の子どもを連れて、冬の夜中、丹波の名峰、長老ヶ岳を越えて、美山の静原方面に出発します。途中、心配してあとを追ってきた村人に追いつかれて背負っていた子どもを下ろしてみると、なんと死んでいました。それでもおこんは引き返さず、泣きながら死んだ子どもを村人に頼み渡し、長男と夜明け間もない長老ヶ岳を越えるのです。

全部で一〇四段あるうちの第三段「子別れの段」、その中でも一番の聞き所より

伍平どん、弥作どん、この児の弔い頼みますぞえ。と亡骸を、渡す手許もうちふるえ、尽きせぬ思い。心を鬼に。
「おさらば」「さらば」「おさらば・・・」と見送る涙。見返る涙。涙の別れ送りの念仏南無阿弥陀仏。弥陀仏。子は西国の弥陀の国。親は東へ、長老ヶ岳声も届かず。

ポイント

(節) 渡す手許も打ち震え、一番悲しいシーンになる。高い声で悲しい三味の音に合わせて語る。

ポイント

見送る涙と、見返る涙とあるが、見送る涙は村人の涙。見返る涙は母の涙。どちらかというとも母の涙の方が情が入るところだと思えます。

練習時の録音です



録音音源



事業紹介



令和7年度地域プログラム(南丹)まねてまねぶ伝統芸能「まねっこ浄瑠璃」アートの視点で京都府内の地域の魅力を発信する事業「地域プログラム」。今年度、南丹地域では、アートユニット山成研究所の二人の視点を通じて、京丹波町の人々が受け継いできた「和知人形浄瑠璃」の魅力に迫るリサーチ、ワークショップ、パフォーマンスを開催！

「まねっこ浄瑠璃」実施プログラム

<ワークショップ>

それぞれの所作を、みて、きいて、まねっこしながら、体験！
9/28(日) まねっこ三味線
10/12(日) まねっこ人形
10/19(日) まねっこ語り
<パフォーマンス・体験型展示>
10/25(土) まねっこ浄瑠璃大行列(観覧自由)
詳しくは、WEBサイト「KYOTOHOOP」をチェック！



WEBサイト「KYOTOHOOP」



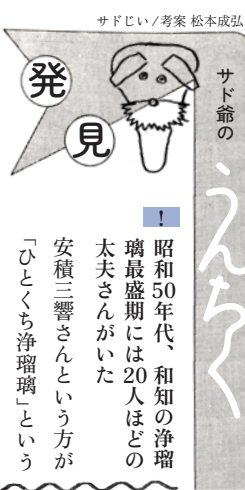
WEBサイト「KYOTOHOOP」にて閲覧・ダウンロードできます。

新聞「まねっこくらぶ」
山成研究所の2人が和知人形浄瑠璃について調査。お話を聞いたことを皆さんにお伝えしていきます。併せて地域の方が大切にしている人形たちをリサーチ！和知人形浄瑠璃、そして人形と人との関わりかたに迫ります！全3回発行。

やまなりけんきゅうじょ 山成研究所

亀岡市を拠点に、身の回りの小さなものごとについて、こどもやおとなたちと一緒に発見し考える場をつくる。辰巳雄基とうーから成るアートユニット。

和知人形浄瑠璃 江戸時代末期に大迫村(京丹波町大迫)で始まったとされる。おおぶりな人形を一人で操る「一人遣い」は和知ならではの特長。京都府無形民俗文化財。和知人形浄瑠璃会が保存と継承に取り組んでおり、道の駅「和(なごみ)」の伝統芸能常設館で定期公演を行っている。随時、会員募集中。



！ 昭和50年代、和知の浄瑠璃最盛期には20人ほどの太夫さんがいた
安積三響さんという方が「ひとくち浄瑠璃」という会を開いていた。

！ 5分から10分くらいの短編を語る会で、年に1回は大会も開かれていた。カセットテープを貸し借りするなどして、今でいうカラオケのようにそれぞれが切磋琢磨して楽しんで学んでいた。



床本は5行で書かれている



和知バージョンに編集したもの

！ 床本は公演の始まりと終わりに高く掲げる

床本は太夫の生命。両手で押し頂き、先人たちが作者への感謝と舞台の無事を祈る。床本は見台に置き、めくる。(演目に合わせて見台を選ぶ)

見台(けんたい)



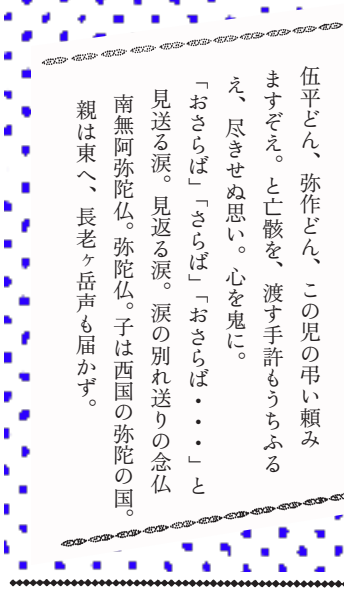
和知人形浄瑠璃会
芸名 智嶺輝
(ともみねあき)

太夫

※義太夫は(ぎだゆう)と読む



人形遣いとして入会したが、皆でカラオケをしていた時「語りに向いている声だ」と言われて太夫になる。



アイシャドウしてあげた
髪の毛染めてあげた



なまえ：ユニコーン
チャームポイント：髪の毛／しっぽが長い
すこくかわいい・一緒に寝てる
一緒に旅行とかもする

なまえ：ウサギちゃん／4さい
生まれた時に来てくれた

性格：よく歌う



まいあさ〜
最近おけしようグッズでおけしようしてあげた

よくお出掛けに連れて行くけど
お母さんに「なくすからやめて」と言われる
けどカバンの下に入れて服で隠して持っていく



なまえ：ニャオハ
アマゾンからやってきた／家に来て3年くらい
特技：うでまわし
チャームポイント：耳が緑のそこ

たまに帽子をかぶる
お祭りで作ったやつ



手をパタパタさせて遊ぶ



なまえ：カービー／1さい
星ののって宇宙からやってきた
特技：すいこみ・なぐる・星にのる
いつも寝ている
夜に何か他のおもちゃを食べていた

プミと書いた
ネームタグをつけた



背中にも友達の人形が
乗ったりする

なまえ：プミ
今年の5月から6月くらいにきた
特技：最高10回の大回転ができる／フラダンス



なまえ：たこたろう／1さい
どっかの水族館
特技：たまに頭の上にいる
チャームポイント：もちもち

なまえ：おさるのジョージ／3さい
UFO キャッチャーで出会った
性格：はげしい
特技：おもしろいからこ
チャームポイント：目が好き

こけたから怪我をしている



一緒に寝てる

なまえ：パンダ
だいたい前から一緒にいる
100円ショップで友達と一緒に買った
特技：回転／いつも投げている
チャームポイント：目がくりくりしているところ

なまえ：ももちゃん
家の前の人からもらった
チャームポイント：目がまんまる



どっかにいく時あるけど
鈴の音でどこにいるかわかる



これまで和知人形浄瑠璃に加えて、地域の人たちが大切にしている人形のリサーチを行ってきました。
こどもたちの持つ人形を中心に話を聞き、「生活」での人形と人の関わりを教えてくださいました。
これまでにリサーチした人形たちは、「まねっこくらぶ」人形編、三味線編でも紹介しています。
詳しくは、WEBサイト「KYOTOHOOP」をご覧ください。

家にもっと仲間がいる・20くらいのいろんな仲間と並んで寝ている



犬の毛を食べている

なまえ：スカイ・グレー／5さい
UFO キャッチャーで出会った
性格：寝てる時、じっとしているが
普段は激しい
特技：歌うこと
チャームポイント：目がカッコいい
綺麗でかわいい



うっ伏せで寝ることが多い
いつもは家で
コロとして

なまえ：くつ
宇宙船からやってきた
出会って2年
性格：おとなしく見えるけど
実は司会者向き
特技：右の耳は後ろにできる
左の耳は前にできること
リボンを斜めに持つこと
しっかりと座れること
チャームポイント：耳
雪の日にバスツアーに一緒に行った

家では大きいクマのぬいぐるみ
のお腹の上によくいる



この前まで男性着物みたいな着てた
いつの間になくなってた

なまえ：チュー大吉／1さい
女性会でももらった
近所のおばちゃんがつくったものかも
チャームポイント：ビーズが帽子についているのがかわいい



ちまたではつけん
にんぎょういんたびゅー



山成研究所
人形レポーター：やま吉
人形の絵：うー

インタビュー協力
*びばべ実験室
*のびのび児童クラブ3組
京丹波町・南丹市・亀岡市
など地域のこどもたち



これであなたも
まねっこ浄瑠璃



声がひびくからね☆

⑥ なぜお風呂かって？



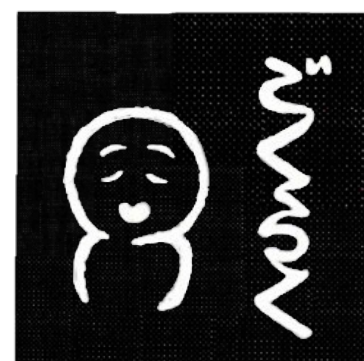
かえてみる

⑤ のぼすところを



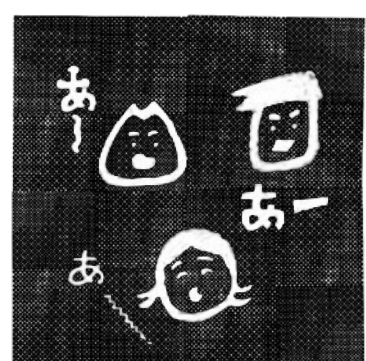
語りわける

④ 老若男女



まずはごらくと言ってみる

③



だしてみる

② いろんな声を



ひざついてつま先たてる

① お風呂にいく



お風呂で まねっこ語り